

授業科目名 (英訳)		厚生労働政策 Policy of Labour and Welfare				担当者氏名		経済学研究科・教授・久本 憲夫		
配当学年	全回生	単位数	2	開講期	前期	曜時限	火・2	授業形態	講義	
〔授業の概要・目的〕										
<p>現在、わが国の政策において、少子化、高齢化、雇用問題の深刻化、公的年金制度や健康保険制度などの財政問題、男女共同参画社会のための働き方の見直し、障害者にやさしい社会づくりなど、厚生労働政策は、実に重大かつ多様な政策課題が存在している。本授業では、こうした分野に関して、政策理念、政策史、現状の諸課題と解決策について、諸外国との比較を含めて、系統的かつ実践的な講義を展開する。報告およびディベートを重視する。詳細については、参加状況をみてフレキシブルに対応する。受講者の能動的な参加が必要である。</p>										
〔授業計画と内容〕										
<p>講義プラン 第1回 厚生労働政策をめぐる経済・社会状況 第2回 日本的雇用システム 第3回 雇用形態の多様化 第4回 雇用政策 第5回 労働時間政策 第6回 賃金決定 第7回 社会保障概説 第8回 公的年金と高齢者雇用(1) 第9回 公的年金と高齢者雇用(2) 第10回 医療・介護保険 第11回 社会福祉 第12回 生活保護とセーフティーネット 第13回 少子化とワークライフバランス 第14回 総括</p>										
〔履修要件〕										
特になし。										
〔成績評価の方法・基準〕										
出席率(40%)、報告内容(20%)、議論への参加状況(40%)により、評価する。										
〔教科書〕										
久本憲夫『日本の社会政策』、ナカニシヤ出版、2010年										
〔参考書等〕										
久本憲夫玉井金五編『社会政策1 ワークライフバランスと社会政策』法律文化社、2008年 玉井金五・久本憲夫編『社会政策2 少子高齢化と社会政策』法律文化社、2008年										
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕										
特定のオフィスアワーは設けない。面談を求める学生は、事前につぎのメールアドレスに連絡すること。hisamoto@econ.kyoto-u.ac.jp										

